

事務事業実績測定調書

R5調書番号 604

事務事業名称	ごみ処理手数料(証紙)徴収事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	環境部			課	循環型社会推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2002(H14)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例、枚方市証紙条例				
関係補助金名称		サンセット		～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	粗大ごみ等を排出する市民			
	サブターゲット	家庭系のごみ処理手数料の証紙販売等を行う事業者(売りさばき人)			
	ターゲットが抱える課題	市民は証紙を購入し、粗大ごみ等を適正に排出する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が粗大ごみ等を適正かつ円滑に排出している。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 粗大ごみ等の処理に係る手数料を徴収する証紙の販売・管理を行う。 証紙を販売する売りさばき人の指定等を行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	粗大ごみ等の処理に係る証紙を過不足なく徴収することにより、市民が粗大ごみ等を適正かつ円滑に排出できている。				インプット (活動)	売りさばき人の指定等を行い、粗大ごみ等の処理に係る手数料(証紙)の徴収を行う。					
	指標説明					証紙販売数					販売箇所						
指標設定	指標種類					単位	枚					単位	箇所				
	指標数値					R2	R3	R4	R5					R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					80,000	80,000	80,000	80,000					153	153	153	153
	実績					99,806	91,175	87,211	79,966					149	145	146	143
達成度					100%								93%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,929	3,125	3,158		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,929	3,125	3,158		
物件費計	5,277	5,141	4,853	6,010	80.7%	
歳出計	9,206	8,266	8,011			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	5,277	5,141	4,853	6,010		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>・売りさばき人を指定し、証紙を販売することにより、粗大ごみ等の処理に係る手数料を徴収した。 300円券:47,884枚、600円券:32,082枚</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	塵芥処理手数料を枚方市証紙で徴収することにより、ごみの排出者責任と応益負担の考え方を担保する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 605

事務事業名称	事業系ごみ減量及び適正処理推進事業												
測定年度	2023(R5)年度				部	環境部			課	循環型社会推進課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3			R4			R5	
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち										
	実行計画名		25-1.ごみ総量の削減と資源化の推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	月平均2.5トン以上の一般廃棄物を排出する事業者(行政を含む)			
	サブターゲット	一般廃棄物を排出する事業者(行政を含む)			
	ターゲットが抱える課題	一般廃棄物を排出する事業者は、減量及び適正処理を実施する必要がある。 一般廃棄物を排出する事業者は、ごみ処理手数料を適切に負担する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	一般廃棄物を排出する事業者が、減量及び適正処理を実施している。 一般廃棄物を排出する事業者が、ごみ処理手数料を適切に負担している。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物を排出する事業者に減量及び適正処理の指導を行う。 事業系ごみ処理手数料の見直しを行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		一般廃棄物を排出する事業者が、減量及び適正処理を実施している。				事業系一般廃棄物減量等計画書等の結果により、必要に応じて、事業所に対し立入調査等を実施する。				事業系一般廃棄物を排出する対象の事業所に対し、事業系一般廃棄物減量等計画書の提出及び一般廃棄物管理責任者の選任を求める。				
指標設定	指標説明	事業系一般廃棄物搬入量				事業所への立入調査件数				事業系一般廃棄物減量等計画書提出数				
		単位		トン	単位		件	単位		件				
	指標種類	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	32,336	32,148	31,960	31,771	25	25	25	25	76	76	76	76
達成度	108%				108%				120%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,286	8,593	8,685		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,286	8,593	8,685		
物件費計	4,618	6,753	7,147	7,178	99.6%	
歳出計		10,904	15,346	15,832		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		4,618	6,753	7,147	7,178	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>月平均2.5トン以上の一般廃棄物を排出する多量排出事業者に対して一般廃棄物管理責任者の選任及び事業系一般廃棄物減量等計画書の提出を求め、当該事業所への立入指導を実施した。また、令和4年度の枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例の改正に伴う事業系ごみ処理手数料の改定に向けて、排出事業者に対する周知に取り組み、令和5年12月1日から手数料を90円/10kg から120円/10kgに円滑に改定した。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、一般廃棄物の排出事業者に減量及び適正処理の指導を行う。また、令和7年度の事業系ごみ処理手数料の改定に向けた周知の準備を進める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 606

事務事業名称	北河内4市リサイクル施設組合負担金交付事業										
測定年度	2023 (R5) 年度			部	環境部			課	循環型社会推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2001 (H13) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律、北河内4市リサイクル施設組合同約				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市・寝屋川市・四條畷市・交野市で設立した北河内4市リサイクル施設組合			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	北河内4市から収集されたペットボトル・プラスチック製容器包装を適正に中間処理する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	北河内4市から収集されたペットボトル・プラスチック製容器包装を適正に中間処理している。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に基づき、北河内4市(枚方市、寝屋川市、四條畷市、交野市)で設立した北河内4市リサイクル施設組合で、ペットボトル・プラスチック製容器包装の中間処理を行っている。 北河内4市リサイクル施設組合の適正な運営を行うために、北河内4市リサイクル施設組合同約に基づく応分の負担金を交付している。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			適正な運営により、北河内4市から収集されたペットボトル・プラスチック製容器包装を適正に中間処理している。				北河内4市リサイクル施設組合の適正な運営を行うために、応分の負担金を交付する。				
指標設定	指標説明		ペットボトル・プラスチック製容器包装のリサイクル率 【算出式:リサイクルした量/中間処理量×100】				負担金の交付回数				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値			単位	%			単位	回		
	目標 (見込み)			R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績			100	100	100	100	4	4	4	4
達成度			100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,357	1,562	1,579		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,357	1,562	1,579		
物件費計	174,252	172,584	158,201	178,775	88.5%	
歳出計	176,609	174,146	159,780			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	174,252	172,584	158,201	178,775		

5. 総括的分析

総括的分析	北河内4市リサイクル施設組合の適正な運営を行うために、北河内4市リサイクル施設組合同規約に基づく応分の負担金を交付するとともに、職員1名を派遣し、北河内4市リサイクルプラザ(かざぐるま)でペットボトル・プラスチック製容器包装の中間処理が適正に行われ、リサイクルを推進することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	北河内4市リサイクルプラザ(かざぐるま)の適正かつ効率的な運営のために、引き続き北河内4市リサイクル施設組合に職員1名を派遣し、北河内4市リサイクル施設組合同規約に基づく負担金の交付を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 610

事務事業名称	東部清掃工場建設工事関連事業												
測定年度	2023(R5)年度				部	環境部				課	循環型社会推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2008(H20)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	東部清掃工場の都市計画決定区域内の地権者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	都市計画決定区域において、用地買収を円滑に進めることが出来ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	都市計画区域の全てを買収できている状態。				
事業概要	1. 未買収用地の境界確定業務を行う。 2. 都市計画決定区域である東部清掃工場未買収用地の取得を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		都市計画区域の全ての用地が買収できている。				未買収用地の取得により、都市計画決定区域における取得済用地の面積が増える。				境界画定業務等により、都市計画決定区域である東部清掃工場未買収用地の取得を実施する。			
指標設定	指標説明	用地取得率 【算出式:取得済面積/取得予定面積×100】				用地取得済み面積				単年度取得予定面積			
		単位 %				単位 m ²				単位 m ²			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	81	90	96	100	23,732	26,254	28,127	29,250	3,300	2,522	1,873	1,123
	実績	86	78	73	79	20,432	20,432	20,432	23,140	0	0	0	2,708
	達成度	79%				79%				241%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,714	1,562	1,579		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,714	1,562	1,579		
物件費計	232,692	0	35,831	0		
歳出計	237,406	1,562	37,410			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	937,400	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	937,400	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	232,692	0	35,831	0		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>東部清掃工場は、都市計画事業として平成15年に事業認可を受け、都市計画面積約8haのうち、約5haを取得後、焼却施設は平成20年度に、粗大ごみ破碎処理施設は平成24年度に完成し、現在に至っている。未買収用地3haについては、緩衝緑地として引き続き取得し、緑被率6割（環境影響評価）以上を確保する。なお、令和6年2月に事業認可の延伸を行い、令和9年度末までとなっている。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<p>残りの用地についても、用地課と連携を図りながら事業認可期間中の買収に向けて、引き続き地権者の理解と協力を得られるよう努める。</p>

事務事業実績測定調書

R5調書番号 614

事務事業名称	氷室地域都市基盤整備事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	環境部			課	循環型社会推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1999(H11)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	氷室地域の各自治会及び住民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	氷室地域の里山保全、農業振興、道路交通対策など整備に関する様々な課題に対して、地域住民は行政の協力を必要としている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域と行政が連携して課題に取り組み、整備が充実している状態。				
事業概要	氷室地域の各自治会の要望(支援要請)の窓口として地元並びに庁内関係課と協議調整を行うとともに、氷室地域の都市基盤整備の充実のため支援を行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		地域と行政が連携して課題に取り組み、整備が充実している。				各種要望や支援要請に対し、適切に対応する。				氷室地域の各自治会の要望(支援要請)を受け付ける。			
指標設定	指標説明	地元支援要請対応の引継率 【算出式：担当部局への引継数 / 地元支援要請資料作成数 × 100】				現地調査資料を担当部局に引き継いだ件数				支援要請の把握・現地調査資料の作成件数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	10	10	10	10	10	10	10	10
	実績	100	100	100	100	34	26	18	19	34	26	18	19
	達成度	100%				190%				10%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,714	1,562	1,579		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,714	1,562	1,579		
物件費計	0	0	0	0		
歳出計	4,714	1,562	1,579			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	氷室地域において自然と人との共生を図るため、氷室地域等住み良い環境整備基金を設置してきたが、平成26年度公約施策である土砂防災に対する防災機能を備えた新たな活動拠点である尊延寺区新自治会館の建設に同基金を活用し、支援したことにより同基金については、平成28年度末で廃止となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	氷室地域の地元要望に対して、地元自治会及び庁内関係課と協議を行いながら、都市基盤整備の充実を目指す。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 615

事務事業名称	ごみ減量化啓発事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	環境部			課	循環型社会推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち									
	実行計画名	25-1.ごみ総量の削減と資源化の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1982(S57)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内小学校の4年生、幼稚園・保育園・保育所の園児、講演会出席者、駅前施設の利用者			
	サブターゲット	市内小学校の4年生の家族、幼稚園・保育園・保育所の園児の家族、講演会出席者及び駅・駅前施設の利用者の知人や家族			
	ターゲットが抱える課題	4Rの推進について行動するものの、一過性の啓発に止まっており、幅広い減量の取り組みにつながりにくい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	学校や地域、催し物など多方面において普及・啓発を行い、全世代がごみ減量への意識を向上させている状態。				
事業概要	市内の小学校・幼稚園・保育園・保育所において、ごみの処理や減量等についてを学ぶ環境学習の実施や、駅前・店頭における啓発キャンペーンの実施等により、「4R」の普及・啓発を行う。また、ごみ減量等に関する講演会とごみ減量フェア(小中学生によるポスターコンクール作品展示やフリーマーケットの出店等によりごみ減量についての関心と理解を深めるイベント)を実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		全世代がごみ減量を意識した活動を行う。				ごみ減量に関して問題意識を持つようになる。				学校や地域、催し物など多方面においてごみ減量に関する各種啓発イベント等を実施。			
指標設定	指標説明	ごみ減量に関する行動(夢工房来場者、サテライト発表会)を実施する市民の人数				ごみ減量に関する各種啓発イベント等への参加人数				ごみ減量に関する各種啓発イベント等の実施回数			
		単位 人				単位 人				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	2,230	2,230	2,230	2,230	22,377	22,377	22,377	22,377	67	67	67	67
	実績	33	284	263	272	3,957	6,471	11,403	16,255	29	64	67	86
	達成度	12%				73%				128%			

3. 人員体制

(人)

	R5実績
正職員	2.55
再任用	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	36,378	31,717	22,651		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	36,378	31,717	22,651		
	物件費計	845	1,154	1,461	2,006	72.8%
	歳出計	37,223	32,871	24,112		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	845	1,154	1,461	2,006	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度新型コロナウイルス感染拡大の自粛解除により、市民が参加できるイベントや「ひらかた夢工房」の活動、ごみ減量に向けた普及啓発活動が行えるようになった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらエコまつりを開催し、ごみ減量を推進する。 ・出張回収や市民の集まるイベントブースへの出展などごみ減量についての啓発を強化する。 ・環境教育や市民グループと連携し、生ごみの堆肥化など4Rを推進していく。

事務事業名称	ごみ減量化対策事業													
測定年度	2023 (R5) 年度				部	環境部				課	循環型社会推進課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち											
	実行計画名		25-1.ごみ総量の削減と資源化の推進											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性		選択的事业		区分		一般事務事業			
事業期間	1998 (H10) 年度				年度	～		年度まで				
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称							サンセット		～			
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		校区コミュニティから推薦された廃棄物減量等推進員、ひらかた夢工房でごみ減量施策に沿った活動を行う市民ボランティア									
	サブターゲット		廃棄物減量等推進員を推薦した校区の地域住民、ひらかた夢工房の利用者									
	ターゲットが抱える課題		廃棄物減量等推進員が行うごみ減量化施策の地域住民への伝達や、ごみの減量意識向上に向けた啓発に行政の支援が必要。									
	ターゲットが抱える課題		市民ボランティアの高齢化により活動量が減ってきているため、新たな市民ボランティアの募集を行うなど世代交代に取り組む必要がある。									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	廃棄物減量等推進員を含めた市民ボランティアの活動が活性化することでごみ減量につながる。											
事業概要	ごみ減量施策の地域住民への周知・啓発へ協力いただく、校区コミュニティの推薦により任命された廃棄物減量等推進員を設置し、また市民ボランティアで構成されたひらかた夢工房の管理・運営、生ごみの堆肥化事業など、市民やNPO団体との協働により、ごみの減量に取り組む。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		廃棄物減量等推進員を含めた市民ボランティアの活動が活性化することでごみ減量につながる。				市民のごみ減量に関して触れる機会が増える。				廃棄物減量等推進員を含めた市民ボランティアとの協働による、ごみ減量の意識啓発等を実施。				
指標設定	指標説明		廃棄物減量等推進員の委嘱人数及び市民ボランティアの登録人数				啓発イベントへの参加人数				ごみ減量の意識啓発イベントの開催回数			
			単位		人		単位		人		単位		回	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	781	781	781	781	5,500	5,500	5,500	5,500	30	30	30	30
		実績	695	674	649	663	10	25	36	35	1	3	2	3
達成度		85%				1%				10%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.45
再任用	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	20,742	23,045	12,959		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	20,742	23,045	12,959		
物件費計	1,722	1,206	787	3,456	22.8%	
歳出計	22,464	24,251	13,746			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	1,722	1,206	787	3,456		

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度から「ひらかた夢工房」が通常活動に戻り、イベントや講習会等により啓発を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度末をもって廃棄物減量等推進員制度を休止し、それに代わるプラットフォームを立ち上げ、さらなる資源循環の活性化を進める。 「ひらかた夢工房」については、市民のボランティア活動を引き続き支援する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 617

事務事業名称	ごみ置場開発協議事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	環境部			課	循環型社会推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市開発事業等の手続等に関する条例				
関係補助金名称		サンセット		～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	ごみ置場を設置する開発事業者			
	サブターゲット	ごみ置場を使用する住民			
	ターゲットが抱える課題	・狭隘な土地、道路に面した土地に共同住宅を建設する場合、枚方市開発事業等の手続等に関する条例に基づいたごみ置場の設置ができない。			
	ターゲットが抱える課題	・ごみ置場を使用する住民より近隣の住民の理解が得られず、ごみ置場が設置できない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	<ul style="list-style-type: none"> ・狭隘な土地や道路に面した土地に共同住宅を建設する場合、ごみ置場を設置するスペースを確保することで、枚方市開発事業等の手続等に関する条例に基づいたごみ置場の設置ができる。または、近隣住民の理解を得た上で、近隣にある既存のごみ置場を利用することができる。 ・開発業者等に対し、事前協議を行うことにより適正な指導ができ、また近隣の住民の方も説明を行うことによりごみ置場への理解が得られ、ごみ置場を確認できる。 				
事業概要	枚方市開発事業等に関する条例に基づき、開発者等とごみ置き場に関する事前協議を実施する。また、開発事業に係る申請内容や必要書類を確認し、適切な指導等を行うとともに、現地による検査など確認を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			各事前協議の上、適切な指導を実施する。				開発事業に伴うごみ置場の設置について、事前協議を受け付ける。				
指標設定	指標説明		適切な指導を行った件数				ごみ置き場の適正な設置に向けた協議の受付件数				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績		150	150	150	150	150	150	150	150
	達成度		105%				105%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.95
再任用	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	14,778	15,233	12,538		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	14,778	15,233	12,538		
物件費計	35	10	8	9	88.9%	
歳出計	14,813	15,243	12,546			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	35	10	8	9		

5. 総括的分析

総括的分析	開発事業等において、ごみ置場の設置等の指導を行った。(157件)
-------	----------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	公共施設であるごみ置場の設置等に関する事前協議等において、適正指導を行うとともに、検査にて適正なごみ置場を確認・確保する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 618

事務事業名称	再生資源集団回収報償金制度運用事業													
測定年度	2023(R5)年度				部	環境部				課	循環型社会推進課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち											
	実行計画名		25-1.ごみ総量の削減と資源化の推進											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性		選択的的事业		区分		一般事務事業			
事業期間	1994(H6)年度				年度	～		年度まで				
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称							サンセット		～			
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		営利を目的としない市内に居住するもので構成する団体									
	サブターゲット		再生資源集団回収に参加する地域住民									
	ターゲットが抱える課題		新聞の購読率減少で全体の回収量が減ってきている一方で、リサイクル対象となっている雑がみ等が集団回収されずに焼却ごみとして排出されている。また、自治会等の団体が無い地域では、本制度を利用できない。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	焼却ごみとして排出されている雑がみも報償金の対象となることを登録団体に周知する。また、制度の周知を行い、古紙回収を実施しているにもかかわらず本制度への登録をしていない自治会や地域について、団体登録をしていただき、本制度を利用していただく。回収量に応じた報償金を受けられることから、ごみの分別意識が向上し、焼却ごみの減少につながる。											
事業概要	平成6年7月から、再利用可能な品目の資源化によるごみ減量を促進するため、6ヶ月間に定期的に3回以上、古紙や古布等を回収し再生業者に引き渡している子ども会等の市内に居住する者で構成する非営利団体に対して報償金を交付する再生資源集団回収報償金制度を行うことで、焼却ごみの削減を図る。 ※再生資源集団回収報償金制度とは、再利用可能な資源の集団回収を自主的に実施している団体に対し再生資源集団回収報償金を交付することにより、ごみの減量及び資源の有効利用並びにごみ問題の意識向上を図ることを目的とするものであり、団体はあらかじめ、再生資源集団回収登録申請書を市長に提出しその登録を受ける。また、7月及び1月にそれぞれ前月までの6ヶ月分の再生資源集団回収報償金交付申請書を市長に提出し、1キログラム当たり4円の報償金の交付を受ける。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	制度を利用していただくことで再生資源回収率の向上につながっている。				各団体により、再生資源の回収量が増える。				再生資源集団回収を実施している団体に対して、報償金を交付する。					
指標設定	指標説明		再生資源ごみの資源化率 【算出式:資源化総量/ごみ処理総量×100】				登録団体数				制度の周知回数			
			単位		%		単位		団体		単位		回	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標 (見込み)		22.70	22.90	23	23.10	609	609	609	609	5	5	5	5	
実績		20.90	19.90	19	18.52	608	603	598	591	2	3	1	2	
達成度		80%				97%				40%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	10,528	9,687	9,474		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	10,528	9,687	9,474		
物件費計	44,808	41,875	38,747	44,598	86.9%	
歳出計	55,336	51,562	48,221			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	44,808	41,875	38,747	44,598		

5. 総括的分析

総括的分析	アウトカム 資源化率:再生資源集団回収量(9,658.80t)/一般ごみ(52,147.87t)≒18.52% アウトプット 令和5年度下半期 交付申請団体数591団体
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌で制度への登録を呼びかける。 ・再生資源集団回収報奨金の交付申請に基づき報奨金を支給する。 ・交付申請方法の簡素化を図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 620

事務事業名称	粗大ごみ等受付事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	環境部			課	循環型社会推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	「粗ごみ」、「大型ごみ」、「臨時ごみ」、「動物の死体」、「持ち込みごみ」の排出を行う枚方市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市民が粗大ごみ等を排出するにあたり、連絡すべき場所等が分からなくなり、混乱を招く。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	粗大ごみ等排出の依頼に対し、適切に処理できている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 粗大ごみ等電話予約受付は、「粗ごみ」、「大型ごみ」、「臨時ごみ」、「動物の死体」、「持込みごみ」に分類して収集 予約の受付を行い戸別収集をする。また、「粗ごみ」、「大型ごみ」は、インターネットによる予約受付も合わせて行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		粗大ごみ等排出の依頼に対し、適切に処理できている。				依頼のあった粗大ごみ等について、受付を行う。				粗大ごみ予約センターを設置し、粗大ごみ等の排出に関する依頼を受け付ける。			
指標設定	指標説明	粗大ごみ等の収集量 (指標数値:H26～H30の平均収集量)				粗大ごみ予約センターの受付件数				粗大ごみ予約センターの受付日数 (指標数値:実営業日数)			
		単位		トン		単位		件		単位		日	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	5,860	5,860	5,860	5,860	300,000	300,000	300,000	300,000	257	257	257	256
実績	7,089	6,344	5,736	5,416	350,295	350,292	335,375	326,419	257	257	257	256	
達成度	92%				109%				100%				

3. 人員体制

(人)

	R5実績
正職員	1.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	12,964	10,885	11,843		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	12,964	10,885	11,843		
	物件費計	61,472	60,295	60,310	63,136	95.5%
	歳出計	74,436	71,180	72,153		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	61,472	60,295	60,310	63,136	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルスの影響等で増加傾向にあった粗大ごみの申込みや排出量がピークを越え、それぞれの数値が減少傾向にあることから、今後の数値目標については検討が必要と思われる。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	地震や災害等の影響を鑑みて目標数値を設定し、円滑な粗大ごみ受付を行う。また、市が行うイベント等で粗大ごみインターネット受付のチラシを配布しインターネットでの受付を促進します。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 621

事務事業名称	一般廃棄物処理計画推進事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	環境部			課	循環型社会推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	枚方市廃棄物減量等推進審議会				
事業対象	メインターゲット	廃棄物行政を担う職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	一般廃棄物の減量及び適正処理を推進する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	一般廃棄物の減量及び適正処理が行われている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物処理基本計画や災害廃棄物処理計画などの策定・見直しを行うとともに、各種計画に基づく取り組みの進捗管理を行う。 枚方市廃棄物減量等推進審議会の運営を行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			「一般廃棄物処理計画」に係る取り組みが確実に推進される。				「一般廃棄物処理計画」に係る各種事務が推進される。				
指標設定	指標説明		一般廃棄物処理実施計画に記載している主な取り組みの実施率 【算出式:実施した主な取り組みの件数/一般廃棄物処理実施計画に記載している主な取り組みの件数×100】				一般廃棄物処理実施計画掲載の主な取り組み件数				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績		100	100	100	100	32	32	32	32
	達成度		100%				125%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.80
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	16.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	19,643	14,062	14,211		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	561	447	266		
	人件費計	20,204	14,509	14,477		
物件費計	3,388	0	0	0		
歳出計	23,592	14,509	14,477			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	3,388	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	廃棄物減量等推進審議会において、一般廃棄物処理実施計画に基づく主な取り組みを適宜報告し、委員からの意見等を踏まえ、今後の取り組みを進めるなど、ごみの減量・リサイクル及び適正処理に関する取り組みを推進した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、一般廃棄物の減量及び適正な処理を推進するために一般廃棄物処理計画に基づく取り組みを進める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 623

事務事業名称	枚方京田辺環境施設組合負担金交付事業										
測定年度	2023(R5)年度		部	環境部			課	循環型社会推進課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2016(H28)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方京田辺環境施設組合同規約				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市・京田辺市で設立した枚方京田辺環境施設組合			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	可燃ごみ広域処理施設の整備を円滑に推進する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	可燃ごみ広域処理施設が稼働している。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している穂谷川清掃工場第3プラントと京田辺市甘南備園焼却施設の後継施設について、枚方市と京田辺市が枚方京田辺環境施設組合を設立し、同組合による可燃ごみ広域処理施設の整備を行う。 ・枚方京田辺環境施設組合の適正な運営と施設の整備を行うため、枚方京田辺環境施設組合同規約に基づく応分の負担金を交付している。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			負担金の交付により、可燃ごみ広域処理施設の整備が進められている。				枚方京田辺環境施設組合の適正な運営と施設の整備を行うため、応分の負担金を交付する。				
指標設定	指標説明		整備事業の進捗率 【算出式: 事業が適切に進んだ累積年数 / 事業計画(9年) × 100】				負担金の交付回数				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績		44	56	67	78	4	4	4	4
	達成度		100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,286	3,125	3,158		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,286	3,125	3,158		
物件費計	72,564	87,508	184,414	187,039	98.6%	
歳出計	78,850	90,633	187,572			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	2,200	200	2,500	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	2,200	200	2,500	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	70,364	87,308	181,914	187,039		

5. 総括的分析

総括的分析	京田辺市及び枚方京田辺環境施設組合と定期的に会議を開催するとともに、京田辺市と両市長協議を行うなど、可燃ごみ広域処理施設の円滑な整備を進めた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	京田辺市及び枚方京田辺環境施設組合と連携し、令和7年度の稼働を目指して可燃ごみ広域処理施設の整備を進める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 940

事務事業名称	循環型社会推進課運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	環境部			課	循環型社会推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	循環型社会推進課内の所管事務を適正かつ円滑で効率的に執行する				
事業概要	部の職員の安全衛生及び公務災害の事務処理の総括、課の文書管理、物品管理、予算編成・決算管理並びに給与・休暇などの事務処理を行う。また、塵芥収集車両などの管理、収集コース編成など効率的な業務の運営を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制

(人)

	R5実績
正職員	8.05
再任用	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.54
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	82,505	74,848	64,562		
	会計年度任用職員	5,813	5,853	6,345		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	88,318	80,701	70,907		
	物件費計	111,471	78,727	127,416	148,479	85.8%
	歳出計	199,789	159,428	198,323		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	2	3	3	2	
	市債	0	0	0	0	
	その他	1,203	2,957	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,205	2,960	3	2	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	110,266	75,767	127,413	148,477	

5. 総括的分析

総括的分析	課に係る運営・調整・庶務事務を基本に事務を進め、塵芥収集車両などの管理、委託業務の執行、収集コースの編成など、効率的かつ円滑な運営事務を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、今後も効率的かつ円滑な課の運営を図る。